

1. 中村 清隆

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 病児保育お迎えサービスについて	病児保育お迎えサービスが、関東や東北で広がりを見せてきている。最近では、大分県のある自治体で開始され、宗像市でも、令和6年5月10日から福岡県で初めて開始されている。急な子どもの体調不良で、教育・保育施設に保護者が迎えに行けない際に、保護者に代わって看護師や保育士がタクシーで迎えに行き、病児保育施設で預かるというサービスである。 そこで、本市における病児保育お迎えサービスについて、以下の点の見解を伺う。 ①宗像市のサービスを承知しているか。 ②宗像市のサービスが開始された理由を承知しているか。 ③エッセンシャルワーカーにはもちろん必要なサービスであると考えるが、それ以外の市民からも、必要とする声を多く聞く。その理由は何だと思えるか。 ④子どものいる多くの市民が必要とする、病児保育お迎えサービスを、本市でも実施すべきと思えるが、市の見解は。	
2. 公共施設の空調設備について	以前から体育館等の公共施設に空調設備を設置することを訴えているが、毎年毎年気温が上昇している現状で、施設利用者の中で、体調不良者も増加傾向にある。死者が出てもおかしくない。中体連やインターハイ等、夏に実施される大会も多い。先日建て替えたばかりの大牟田市のアリーナは空調も完備されていた。本市は劣悪ともいえる環境の施設で練習をしなくてはならず、指導者たちからも危険だとの声が多く聞こえてきている。公共施設等総合管理計画も踏まえた空調設備設置の考えを伺う。	

2. 大山 隆之

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 介護サービスの効率化について	超高齢化社会に伴い、全国的にも介護サービスの需要が高まっている。また、そのケアを担っていく介護従事者等は年々人手不足になっていっている。人員確保も必要ではあるが、市との連携も効率化が必要と考える。 そこで、以下の点について問う。 ① 本市における年間の介護認定者数と直近の傾向 ② 市役所における介護サービス効率化への取り組み	
2. 就労支援等の福祉事業者との連携について	本市では、人口増加に伴い障がい福祉サービスを受ける市民も増えている。しかし、就労支援施設や精神障がい者向けの施設は増加傾向にない。 そこで、以下の点について問う。 ① 基幹相談支援センターへの問い合わせの件数 ② 基幹相談支援センターの役割 ③ 市内の就労継続支援や自立支援に関わる事業者への情報提供や連携に対する取り組み	
3. R S ウイルスについて	昨今、R S ウイルス感染症に乳幼児が感染し、肺炎を発症して重症化し、後遺症として喘息を引き起こすケースが多く見受けられる。また、令和6年1月には厚労省が妊婦向けのR S ワクチンを承認した。 そこで、以下の点について問う。 ① R S ウイルスについて、所管部署はどのように理解しているか ② 本市内での直近の発症件数 ③ 本市におけるR S ウイルス対策	

3. 中村 恵輔

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1.カーボン・ニュートラルへの取り組みと市のビジョンについて	市は2022年12月17日にゼロカーボンシティ宣言をした。 現在、2050年までの二酸化炭素排出量実質ゼロをめざし行政・民間・市民による様々な取り組みがおこなわれている。 この脱炭素社会の確実な実現のために、市のめざすビジョンと具体的なアクションについて伺う。	

4. 榎本 博

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 地域拠点の整備について	6月定例会では、市民の生活拠点となり、人々をひきつける賑わいと魅力を担う「津屋崎地区」と「東福間駅周辺地区」の活性化について、一般質問を行った。 引き続き、各地区の事業の経過詳細、進捗状況、今後の取り組みについて伺う。 (1)津屋崎地区 ① 夕陽館を運営する事業者が7月に決定したが、選定理由と今後の取り組みについて。 ② 旧魚正の解体工事の経費算出のため調査等を行うとのことであったが、今後のスケジュールと利活用について。 ③ 豊村酒造の保存活用計画を津屋崎豊村喜三郎記念財団と市、県の3者で協議中とのことだった。豊村酒造を中心とした津屋崎千軒のまちなみ保存計画と観光計画も同時に進めていく必要があると考えるが、市の考えについて。 (2)東福間駅周辺地区 ① 6月定例会で、費用対効果が見込めないため断念したとの答弁があった公園事業の内容と、費用便益分析調査の内容について。 ② 当該事業については、当初計画から再三変更がなされているが、今後実施される事業としては何があるのか。	
2. 官民連携の取り組みについて	6月定例会の一般質問で、地域の活性化や開発に市民連携・事業者連携で取り組む尼崎市の事例を紹介した。東福間駅周辺地区や津屋崎地区の活性化の一つの方法と考えるが、再度、市の考えを伺う。	

5. 井手口 忠信

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 防災と災害時における避難所整備について	急速な地球温暖化がもたらす気候変動により、近年、自然災害が頻発している。全国の自治体においても、防災力強化をはじめ災害に備えた整備が進められている。 そこで、令和5年9月定例会の一般質問に対する答弁について、その後の進捗状況を伺う。 ① 土砂災害の発生リスクが高い竹林を利活用したゼロカーボンシティならではの取り組みは、現在どのように進んでいるのか。 ② 緊急浚渫推進事業債を活用した、市の管理河川の氾濫危険個所における浚渫工事の実施について、どのような検討を行ったか。 ③ 緊急防災・減災事業債を活用した、災害時の避難場所となる学校体育館への空調整備について、どのような検討を行ったのか。	
2. マイナ保険証の利用促進について	① 現在のマイナンバーカードの交付割合は。 ② マイナ保険証としての利用割合は。 ③ 12月のマイナ保険証移行にあたり、利用促進に向けた取り組みは。	

6. 秦 浩

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 食の安全と食品リサイクルについて	本市の食の安全を守るための食中毒対策や食品のリサイクルについて、以下のことを伺う。 （１）食中毒対策について ① 食中毒を予防するために学校や保育所で取り組んでいることは。 ② 食中毒予防のため学校や保育所での啓発や衛生教育が重要と考えるが、宗像・遠賀保健福祉環境事務所及び福岡県食品衛生協会との連携は。 （２）食品リサイクルについて ① 本市のリサイクル率は。 ② 本市では、食品の製造過程で発生するいわゆる食品残渣がどのように処分されているか把握しているか。 ③ 本市には、お魚センターや魚料理の飲食店が多いが、食品残渣の中の魚かすがどのように処分されているか把握しているか。 ④ 本市の食品リサイクルにおける再資源化の考えは。	
2. 教育施設について	本市の教育施設について、以下のことを伺う。 ① 学校のトイレの改修について ② 学校及び通学路の危険箇所の把握や対処は。 ③ 体育の授業及び水泳授業における着替え場所は。 ④ 学校の体育館や市体育センターなどを含む体育施設の冷暖房設置について。 ⑤ 今後想定される教育施設の増改築について。	

7. 石田 まなみ

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 防災について	令和6年6月定例会の一般質問で防災について取り上げた。その後、九州では8月8日の16:43に、日向灘を震源地とするM7.1の地震が発生した。気象庁のHPによれば、日向灘を震源とする地震は、震度1も含めて8月12日までに18回も起きている。 本市では、本年も11月9日（土）に全市一斉防災訓練を予定しているが、これらを前提として以下を問う。 ① 南海トラフ地震に対する市の考えや備え ② 全市一斉防災訓練の進捗状況 ③ 昨年度の訓練の成果と意見集約の中で出てきた課題 ④ トイレの備蓄状況 ⑤ 0歳児から2歳児を預かる保育施設での災害対策 ⑥ 防災意識の改革	

8. 佐伯 美保

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 子どもたちとその保護者の安心・安全の確保と周辺地域住民の安心・安全の確保及び理解の促進に向けた新設校の防災上の課題と対策等について	子どもたちの教育環境の適正化と防災は喫緊の課題である。文部科学省は、31学級以上の学校は速やかに解消するよう促しているが、教育委員会は「適正規模・適正配置計画」を作成せず、福間南小は平成29年度以来現在も1,567人と過大規模である。一方福間小が令和10年度に約1,870人、福間中が令和13年度に約1,810人（「新設校建設事業の現状について」令和4年12月）と推計し、福間小・津屋崎小・福間中の緩和を図れるとして福間小の分離新設を優先させ、令和9年4月開校を目指している。文部科学省は『水害リスクを踏まえた学校施設の水害対策の推進のための手引』で高台移転を推奨しているが、新設校は低地の高潮・洪水・ため池浸水想定区域内への建設である。「嵩上げで浸水を防ぎ校地内に雨水貯留機能を持たせて周辺地域の被害の軽減を図ることを目指す」としてきたが、盛土により最大浸水想定で周辺地域の浸水被害が著しく悪化することが、調査で判明した。 地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクール）を目指す本市において、子どもたちとその保護者の安心・安全の確保と周辺地域住民の安心・安全の確保及び理解の促進の観点から以下を伺う。 ① 令和10年度福間小1,870人・令和13年度福間中1,810人・令和9年度新設小810人の推計精度の評価と令和6年現時点推計 ② 7月に防災重点ため池に指定され排水路が新設校敷地を横切る七股池決壊時の影響と防災対策等 ③ 洪水時、新設校は指定避難所になり得るか。新設校からの避難経路及び避難代替施設の確保状況 ④ 新設校の造成設計における国交省『宅地防災マニュアル』及び仕様書の遵守状況等 ⑤ 学識経験者の提言を踏まえた周辺地域への浸水被害悪化を防ぐための短期的な適応策と中長期的な緩和策等	

9. 山本 祐平

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 教育委員会の体制と運営状況について	本市の教育行政は過大規模校問題をはじめ多くの課題がある。その課題に対応していく為には教育委員会の体制を強化し、柔軟かつ迅速な判断を行っていく必要があると考える。 それを踏まえ、以下について伺う。 ① 令和3年度以降の教育部の職員数の推移と入れ替り状況 ② 令和3年度以降の教育長を含む教育委員の入れ替り状況 ③ 教育委員会会議における傍聴の考え方 ④ 教育委員会会議での議案審議の考え方	
2. 今後の教育行政の進め方について	本市の教育に係る予算は過大規模校対応だけではなく、老朽化した建物の修繕や建替えなどで、今後も多額の予算が必要となる。また老朽化した建物や過大規模校の状況は地震発生時のリスクが非常に高い。これらを踏まえ、以下について伺う。 ① 教育委員会管轄施設のうち、今後長寿命化や建替え等が必要な施設とそれにかかる費用 ② 過大規模校での災害時対応 ③ 福間南小学校及び福間中学校の過密緩和対策の進捗状況	

10. 米山 信

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 本市職員のメンタルヘルス対策について	本市における職員のメンタルヘルス対策について次のとおり質問する。 ①本市のメンタルヘルス対策の現状はどのようなになっているのか。 ②全国的にメンタルヘルス不調による長期休職者は増加傾向にあるが、本市の実情はどのようなになっているか。 ③令和6年3月22日付で総務省自治行政局公務員部安全厚生推進室長から「地方公共団体におけるメンタルヘルス対策の更なる推進に向けた取組について」という通知が出され、各自治体においてメンタルヘルス計画の自主的な策定を着実に実施する必要があると述べられている。この計画の策定について、どのように考えているか。	
2. 企業誘致について	福岡県下では、自治体の経済発展や財政運営の安定化を図るため、立地企業に対する税の優遇措置を行なう制度または条例を制定し、積極的に企業誘致に取り組んでいる市町村が多い。しかし、本市は当該制度または条例を制定せず、企業誘致にも積極的に取り組んでいない。このことについて、次のとおり質問する。 ①当該制度または条例を制定せず、企業誘致にも積極的に取り組まない理由は何か。 ②福岡県内の市で、当該制度または条例を制定していない自治体の数を把握しているのか。 ③本市の経済的発展と財政運営の安定化を図るため、本市も当該条例を制定し、積極的に企業誘致に取り組むべきと考えるが、市の見解を問う。	

11. 豆田 優子

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 子どもたちの学ぶ機会の確保について	過大規模校である福間小学校の過密化緩和に向けて、新設校建設が進んでいる。一方、福間南小学校の過密化緩和については進展が見えない。そこで以下について伺う。 ① 福間南小学校の過密化緩和に向けた意見交換会が、令和5年8月と令和6年1月に開催された。出された意見は市のホームページで紹介されているが、どう応えてきたのか。また、校区再編が必須であると思われるが、その進捗状況は。 ② 新設校開校に向けて、必要な説明が市民になされているか。 ③ 新設校建設は重要なまちづくりである。まちづくりの視点から、必要な情報が市民へ届けられているか。	

12. 中村 晶代

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 認知症の人に寄り添った地域共生社会の構築について	65歳以上の人口がピークを迎える2040年には、認知症高齢者数が約584万人（高齢者の7人に1人）、軽度認知障害高齢者数が約613万人に上ると推計されている。このような状況を踏まえ、誰もが認知症になり得るという認識のもと、共生社会の構築を加速させることが重要となっており、本年1月に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行された。市では福津市第10期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画を策定し、高齢者を地域で支える事業のもと、認知症についてもさまざまな施策に取り組んでいる。そこで、以下の点を伺う。 ① 認知症施策における市の現在の状況と今後の課題、将来の見通しについて ② 認知症に関する知識および認知症の人への理解を深める取り組みの推進について ③ 認知症の人の尊厳ある暮らしを守るケア技法「ユマニチュード」の普及について ④ 認知症の人の行方不明者対策の強化について	

13. 福井 崇郎

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 次世代の人財を育む教育環境の充実と整備について	① 本市の探究的な学び（学習）の充実に向けた取り組みと課題は。 ② 探究的な学びの充実に向けたコミュニティ・スクールとの関係性をどのように位置づけ、取り組むのか。 ③ 第2期福津市教育総合計画の見直しと今後の策定計画は。 ④ 1年以上の長期にわたって不在になっている教育長の選任状況は。 ⑤ 過大規模校の施設や環境の整備と今後の校区再編は。 ⑥ 新設校建設の今後のスケジュールと進捗は。 ⑦ 教員の働き方改革と環境整備は。	
2. 学童保育所の現状と今後の方針及び支援策について	① 令和6年度の申し込み状況と受け入れ状況は。 ② 学童保育の質を向上するための取り組みと支援員の充実、待遇改善に向けた対応は。 ③ 今後の学童保育を必要とする児童への対応及び施設の環境整備は。 ④ 学童保育所の保育料改定に関する条例の改正について、令和6年6月定例会で付帯決議を提出し、可決している。その後、市の対応は。 ⑤ こども家庭庁より、「放課後児童クラブにおける小学校長期休業期間中の食事提供について（令和6年7月9日）」の通達が出ているが、本市の対応は。	

14. 岩下 豊

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 必要とする人に必要な介護サービスが提供できるまちについて	本市の第9期介護保険事業計画で挙げている介護の課題に対する解決策・対策について市の考えを伺う。 ① 要介護者が必要と感じる支援・サービス（外出同行・移動（移送）サービス等）についての対策は。 ② 介護サービス事業所が抱えている、人材確保や低い賃金水準等の処遇といった課題への解決策は。	
2. 新設小学校建設予定地の周辺地域に対しての対応について	令和9年4月開校に向けて新設小学校建設が進んでいるが、建設予定地周辺住民から不安の声が出されている。建設予定地周辺に対しての市の考えを伺う。 ① 七股池が防災重点ため池に指定されたことに対する建設予定地周辺の防災対策は。 ② 造成工事により浸水の影響が出る箇所に対する対策は。 ③ 学校建設による浸水の影響に関する専門家の評価及び市民説明会開催は。	
3. 過大規模校の過密緩和策について	未だ解消されない福間南小学校の過密緩和策について、令和6年度中に方針を決めるとしているが、現時点での進捗状況を伺う。	

15. 尾島 武弘

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 1次産業の振興について	本市の基幹産業である農水産業を、未来に向け持続可能な産業にするため、市がどのような施策を実施しているのか、また、どのような課題があり対策を行っているのか伺う。 ① 農業施策の現状と課題について ② 漁業施策の現状と課題について	
2. 古墳の保存と活用事業について	市内には世界遺産「新原・奴山古墳群」のほかにも多くの古墳が点在している。「新原・奴山古墳群」を含め、すべての古墳の保存方法と活用方策、また、現状と課題について伺う。	
3. 海岸の管理状況について	市内には22キロメートルの海岸線があり、観光資源として活用されている。市やボランティアの方のごみの撤去活動により、きれいな海岸線が保たれているが、勝浦海岸や白石浜海岸は砂の堆積が酷く、景観を損ねるとともに民家や野菜などに被害が出ている。現在、市がすべての海岸に対し行っている管理の現状、また、課題と今後の対策について伺う。	

16. 戸田 進一

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 教職員の多忙化の解消・緩和について	教職員の多忙化の被害者は、子どもたちである。早急な解消・緩和のため、以下の点を伺う。 ① 長時間勤務の実態と学校の現状 ② 「福津市教職員の働き方改革取組指針」について ③ 多忙化の解消・緩和策の実施について	
2. 大雨被害に対する対応・対策について	全国的に豪雨災害が頻発している。本市においても、7月に2日間にわたり、大雨に見舞われ、道路冠水や車の浸水被害などが発生した。以下について伺う。 ① 近年の豪雨被害の実態 ② 被害を受けた市民に対する市の補償及び支援 ③ 再発防止のための今後の方向性	
3. 「子どもの権利に関する条例」について	「子どもの権利に関する条例」制定を検討する「こどもの国推進協議会」がスタートした。今後の条例検討の予定及び考え方を伺う。	